

2009年8月25日

日本光電、屋外で使える人工呼吸器 外部で充電可能

日本光電は人工呼吸器の新製品を発売した。可動式で運転時の騒音が小さいため、集中治療室（ICU）だけでなく屋外や患者の搬送時にも使える。新型インフルエンザが流行期に入り、重症化すれば人工呼吸器が必要となる患者の増加も予想される。災害時の対応を整えたい医療機関向けに、3年間で700台の販売を見込んでいる。

発売するのはスイスのハミルトンメディカルの「ハミルトン—C2」で、内蔵するタービンで空気を圧縮し患者に送り込む。電源はバッテリー型で2.5時間稼働。外部で充電でき、連続運転が可能となった。重さは従来製品より45%軽くして移動しやすくした。

＝日経産業新聞＝